

実効性のあるBCP策定と継続運用の仕組み (BCM)づくりで、事業の脆弱性を強化し、 継続性を確保

BCP策定・ BCP運用(BCM) コンサルティング

詳しいご内容・お打ち合わせをご希望の場合は、
下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：
株式会社日本能率協会コンサルティング
ビジネスイノベーション本部

お問い合わせフォーム：<https://www.jmac.co.jp/inquiry/reply/contact.html>
お問い合わせ番号：03-4531-4307



お問い合わせフォーム

このような課題はありませんか？

- BCPの重要性は理解しているが、策定したことがない／自社のBCPが無い
- 感染症やサイバーリスク等、新たなリスクを考慮したBCPにブラッシュアップしたい
- BCPの実行性検証や強化点整理、判断力向上の為に、BCP訓練を行いたい
- BCP関連文書類が乱立しており、文書類の統合や体系的な管理を行いたい
- 継続運用の仕組み(BCM)をつくり、BCPの定着化を図りたい



実効性のあるBCP策定と継続運用の仕組み(BCM)づくりで、事業の脆弱性を強化し、継続性を確保！

JMACのコンサルティングの特徴

企業活動には多くの事業継承リスクが伴います。感染症のパンデミックや自然災害などのランダム事象によるリスク、政治的混乱や経済危機などの政治経済的事象によるリスク、ストライキやテロ、サーバー攻撃などの人為的事象によるリスクなど、さまざまです。

2021年6月に改定された『コーポレートガバナンス・コード』（東京証券取引所）の原則 2-3の補充原則にサステナビリティに関わる課題の1つとして「自然災害等への危機管理」が明示されるなど、近年、事業継続計画（BCP）策定の重要性がますます増しています。

JMACの 特徴

JMACは「脅威のリスクマップ」を基に、多岐にわたるリスクのうち自社が対応すべき想定リスクを明確にします。同時に、製造業／非製造業問わずさまざまな業種の現場改革をしてきた経験豊富なコンサルタントが、重要事業・業務の継続力、変化対応力の強化策を検討します。計画の立案だけで終わらない、実際に使える実践的なBCPづくりを支援します。

また、BCPは一度策定したら終わりではありません。それらが自社内に浸透し、実際の事故・災害が発生した際、計画通りに動けるようになっておくことが重要です。そのためには、BCPを軸とし、計画・運用・評価・改善のサイクルを回していく管理の仕組みを構築する必要があります。これをBCM（Business Continuity Management）と言います。



JMACはBCP策定のみならず、BCP訓練や教育を通じ、BCMの定着・継続改善に向けたご支援も致します。

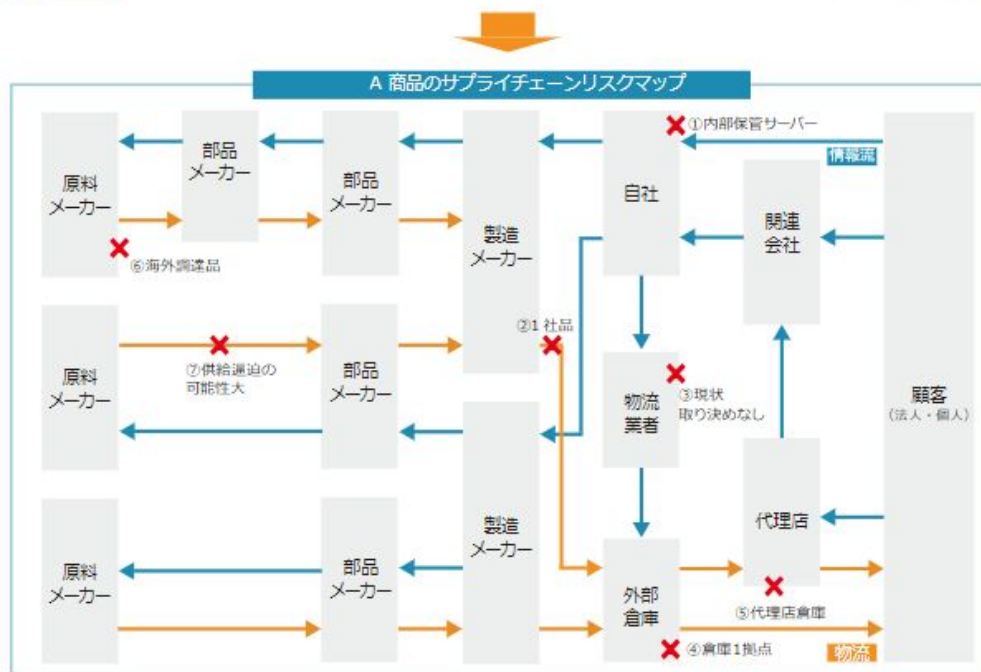
コンサルティングの進め方

事業継続計画

| | |
|------------------------|--|
| 1. リスク評価 | <ul style="list-style-type: none"> ● サプライチェーンリスク評価 ● 部門別リスク評価 ● 現場リスク評価 |
| 2. BCP策定 | <ul style="list-style-type: none"> ● BCP方針の設定(目的、対象範囲、被害想定等) ● リスクアセスメント(ビジネスインパクト分析) ● 重要事業・業務選定と対応方針設定(目標復旧時間、代替方法等) ● BCP対策内容検討(体制・指示命令系統、行動計画、判断基準等の具体策立案) ● 中長期課題の設定、計画策定 ● 定着化に向けた社内外研修(経営層向け、社員向け、取引先向け等) |
| 3. BCP運用・管理の仕組み(BCM)構築 | <ul style="list-style-type: none"> ● 実施・評価・改善の管理サイクルと実施項目設計 ● 個別実施項目の分担設定等 |

リスク項目を抽出して、商品ごとにサプライチェーンリスクマップを策定

| リスク項目の抽出 | サプライチェーンリスク | | | システムリスク | | | | |
|-------------|-------------|--------------|----------------|---------------|--------|---------------|--|--|
| | 調達 | 物流・保管 | 供給(要求) | | 情報システム | 組織 | | |
| | | | 顧客 | 関連会社 | | 関連会社 | 内部 | |
| 商品・サービス(事業) | A | 1社調達品あり | 保管倉庫1か所集中 | 供給停止不可(社会的責任) | | 社内設置にて停電リスク大 | 自社推進事業 保有リスク ・人、設備 ・インフラ ・資金 ・コミュニケーション | |
| | B | 海外調達品あり | 冷蔵品あり(倉庫・トラック) | 災害時の大量需要発生 | | 外部サーバー保管 | | |
| | C | 原料の1社集中品あり | 安全在庫設定量低 | 旧品の修理依頼大量発生 | | データバックアップ外部保管 | 関連会社委託事業 (リスク管理状況) | |
| | D | 供給先におけるシェア低い | 高商品により保管料高 | 供給停止は1wまで | | 担当者個人パソコンで運用 | 外部業者委託事業 (リスク管理状況) | |

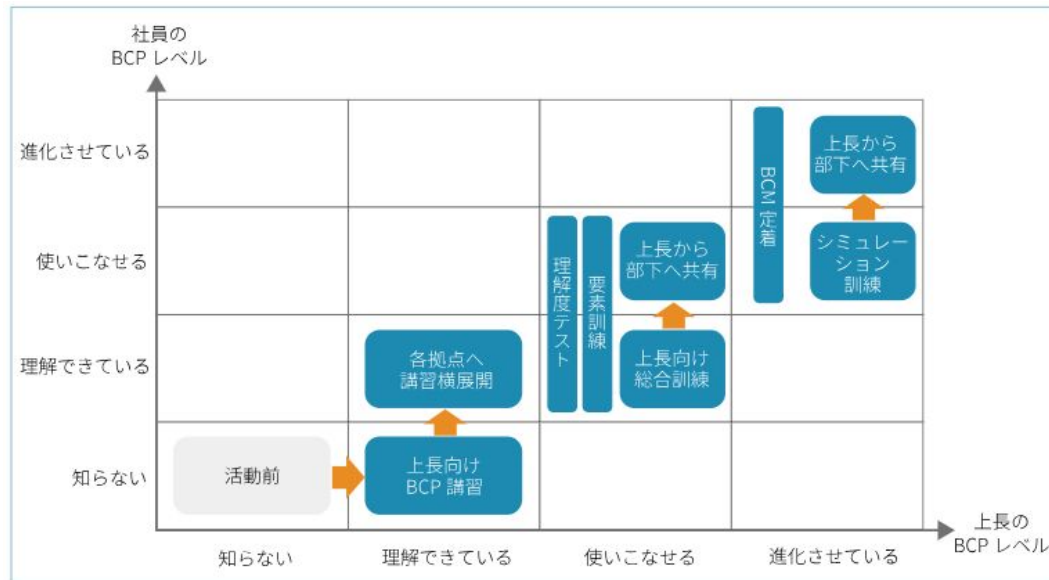


コンサルティングの進め方

BCP運用(BCP訓練・教育)

| | |
|----------------|--|
| 1.教育・訓練の企画 | <ul style="list-style-type: none"> ● 教育・訓練の目的及び内容検討 ● 訓練シナリオの検討 ● BCP理解度テストの設問設計 |
| 2.教育・訓練の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ● BCM・BCP理解度テスト ● 社内外研修(経営層向け、社員向け、取引先向け) ● 机上訓練 他 |
| 3.教育・訓練の結果振り返り | <ul style="list-style-type: none"> ● BCP教育・訓練を通じた気づき、課題整理 他 |

BCP教育支援



BCP訓練企画

各訓練の目的・訓練概要

| No. | 訓練項目 | 訓練目的 | 訓練概要 | 訓練担当者 本部 部門 |
|-----|------|--|--|----------------|
| 1 | 災害確認 | ・ 罹りたれ人員での到達経路の確認 ・ 災害確認担当者との連絡が取れない場合の対応確認 | ・ 災害確認担当者との連絡が取れない場合の対応確認 ・ 被災した社員への対応確認 | ● |
| 2 | 危機対応 | ・ 罹りたれ人員での到達経路の確認 ・ 災害確認担当者との連絡が取れない場合の対応確認 | ・ 罹りたれ人員での到達経路の確認 ・ 災害確認担当者との連絡が取れない場合の対応確認 | |
| 3 | 危機対応 | ・ 罹りたれ人員での到達経路の確認 ・ 災害確認担当者との連絡が取れない場合の対応確認 | ・ 罹りたれ人員での到達経路の確認 ・ 災害確認担当者との連絡が取れない場合の対応確認 | |
| 4 | 危機対応 | ・ 罹りたれ人員での到達経路の確認 ・ 災害確認担当者との連絡が取れない場合の対応確認 | ・ 罹りたれ人員での到達経路の確認 ・ 災害確認担当者との連絡が取れない場合の対応確認 | |
| 5 | 危機対応 | ・ 罹りたれ人員での到達経路の確認 ・ 災害確認担当者との連絡が取れない場合の対応確認 | ・ 罹りたれ人員での到達経路の確認 ・ 災害確認担当者との連絡が取れない場合の対応確認 | |
| 6 | 危機対応 | ・ 罹りたれ人員での到達経路の確認 ・ 災害確認担当者との連絡が取れない場合の対応確認 | ・ 罹りたれ人員での到達経路の確認 ・ 災害確認担当者との連絡が取れない場合の対応確認 | |
| 7 | 危機対応 | ・ 罹りたれ人員での到達経路の確認 ・ 災害確認担当者との連絡が取れない場合の対応確認 | ・ 罹りたれ人員での到達経路の確認 ・ 災害確認担当者との連絡が取れない場合の対応確認 | |
| 8 | 危機対応 | ・ 罹りたれ人員での到達経路の確認 ・ 災害確認担当者との連絡が取れない場合の対応確認 | ・ 罹りたれ人員での到達経路の確認 ・ 災害確認担当者との連絡が取れない場合の対応確認 | |

発災による被害や発生イベントの想定

| No. | 内容 | 判断項目 |
|-----|---|----------------------|
| 5 | ・ 災害発生による被害想定 ・ 災害発生による被害想定 ・ 災害発生による被害想定 | ・ BCP理解度 ・ BCP理解度 |
| 6 | ・ 災害発生による被害想定 ・ 災害発生による被害想定 ・ 災害発生による被害想定 | ・ BCP理解度 ・ BCP理解度 |
| 7 | ・ 災害発生による被害想定 ・ 災害発生による被害想定 ・ 災害発生による被害想定 | ・ BCP理解度 ・ BCP理解度 |
| 8 | ・ 災害発生による被害想定 ・ 災害発生による被害想定 ・ 災害発生による被害想定 | ・ BCP理解度 ・ BCP理解度 |

東京都xx区のインフラ関係被害状況 (発災日●時●分時点)

| 項目 | 状況 |
|-----------|--|
| 固定電話回線 | 本社本社・支店回線も一部ととも繋がりにくい。被災日午後から徐々に回復し、2日目には正常化の見込。 |
| 携帯電話回線 | 各キャリア回線通信・繋がりにくい。2日目から徐々に回復の見込。 |
| インターネット回線 | ・ 本社本社からインターネットは繋がりにくい。 ・ 自宅からのインターネット接続は大部分繋がらない。 ・ キャリア(携帯電話)のインターネット接続は一部繋がらない。 |
| 災害確認手段 | 災害確認システムが使用可能。 |
| 電力 | 1部地域で一部停電が発生。本社は無問題なし。2日目から徐々に回復の見込。 |
| ガス | 1部地域の大部分で供給停止。2日目から徐々に回復の見込。 |
| 水道 | 1部地域の大部分で断水。2日目から徐々に回復の見込。 |
| 電車 | 運行停止。運転再開予定は不明。 |
| 道路状況 | 渋滞・通行は多数。被害は通常の交通の状況。 |
| バス | 運行停止。運転再開予定は不明。 |
| タクシー | つかまらない。つかまっても、目的の会社・最寄り駅まで運ばれない。 |

- 訓練・教育の基本方針**
- ・ 上長から鍛えて、組織全体を引っ張る
 - ・ ステップバイステップで知識・対応力を強化
 - ・ 教育体系を整備し、持続的に成長する仕組みへ

対象部門

- 経営企画部門
- リスク管理部門
- 総務部門、人事部門、情報システム部門 など

Case

| | |
|----------|--|
| 業界 | 自動車部品 |
| 会社プロフィール | 中堅規模の自動車部品メーカー |
| テーマ | 事業継続計画の策定 |
| 背景 | 主要取引先である自動車メーカーから BCP策定の要請があった。これを機会に短期的なものではなく実践的なBCPづくりを検討。複数拠点はあるものの設備や金型の共通化なども遅れており、短期的にできる対策と中長期的に備えるための対策に分けて対策を議論し設定した。 |
| 取り組み内容 | <ul style="list-style-type: none">● 経営層向けのBCP研修の実施● 地震・津波の被害の想定と、被害軽減対策の検討● リスク分散を図るための、複数生産拠点の代替化に向けた基本方向の設定● 取引先向けのBCP研修の実施 |

面談

貴社課題について理解し、JMACのアプローチの説明、ご提案の方向性についてご相談します。
必要に応じて、NDAをご準備します。
現場視察により理解を深めさせていただく場合もございます。

提案

お打ち合わせ内容を踏まえて、貴社課題に添ったコンサルティング計画提案書をご提示させていただきます。

契約

JMACご提案を採用いただきましたら、業務委託契約書の締結準備をさせていただきます。

実施

コンサルティングを実施スタートいたします。
キックオフを経て、

- 現状分析
- 関係者ミーティング
- 改善支援
- 推進報告会

を実施しながら課題解決に努めます。

お問い合わせ先：
株式会社日本能率協会コンサルティング
ビジネスイノベーション本部

お問い合わせフォーム：<https://www.jmac.co.jp/inquiry/reply/contact.html>
お問い合わせ電話番号：03-4531-4307